

◎東北中央自動車道（東根～尾花沢間）の早期完成について

山形県内陸部を縦貫する東北中央自動車道は、山形空港や一般国道と接続し広域的な交流・物流を促進するもので、地域の産業・経済の発展に必要な不可欠な道路です。また救急医療機関等を直結し、地域の生活安定にとって欠かせないものです。

高速道路が持つストック効果を最大限発揮できるよう、全線の早期完成について要望します。

◎ミッシングリンク（未整備区間）解消に向けた主要地方道大石田畑線の整備について

主要地方道大石田畑線は国道347号に連結し、東北中央自動車道や国道13号および一般県道尾花沢大石田線にアクセスする重要路線ですが、要望区間が未整備のためネットワークを形成していません。地域の産業・経済の発展および観光推進に不可欠な道路ですので、早期整備着手について要望します。



◎地方道（県道）の整備について

主要幹線となっている県道の改良・整備を要望します。

路線名	事業箇所	事業内容
主要地方道大石田畑線	豊田地内	道路改良
主要地方道新庄次年子村山線	次年子地内	道路改良
一般県道大石田名木沢線	鷹巣地内	防雪柵整備
一般県道村山大石田線	小菅地内	防雪柵整備
主要地方道大石田畑線	豊田地内	流雪溝整備
主要地方道大石田畑線	大浦地内	流雪溝整備
一般県道尾花沢大石田線	本町地内	交差点改良

農林関係の要望

◎米の低温倉庫建設への支援について

大石田町では水田作付面積のほぼ半分にあたる400haで特別栽培米に取り組み、JAは集荷率90%を確保しています。品質にこだわった米を一般米と区別して消費者に周年安定販売をしたいと考えておりますが、町には常温倉庫しか無く、品質事故防止のため、5月中には不本意ながら全量販売している状況です。消費者との結びつきを強化し、こだわりの「米」を安定的に出荷するため、低温倉庫の建設について支援を要望します。



◎横山第一地区農地整備事業（経営体育成型）の早期完了について

横山第一地区の農地整備事業については、平成24～31年度の事業期間で行っている用排水路・暗渠排水工の整備などの事業進捗率が平成29年度時点で約65%であり、事業期間内に完了するのか担い手農家が懸念を抱いています。農地集積および集約を促進していくため、引続き農業農村整備の事業推進について要望します。

保健関係の要望

◎北村山公立病院組合への財政支援について

地域医療を取り巻く情勢は、医師の偏在に加え看護師や助産師の確保も厳しい状況が続いていることなどにより、一層厳しさを増しています。県立病院のない北村山地域において、住民が安心して住み続けるため重要な役割を果たす北村山公立病院に対する財政面の支援を要望します。

平成31年度  
大石田町

重要事業

来年度、国や県に事業の採択や継続を要望する「平成31年度大石田町重要事業」がまとまりました。流雪溝面的整備事業の早期着手や東北中央自動車道の早期完成など11の事業について、町と議会が一体となって国や県に要望を行います。

安全・安心に暮らせる町に向けて



国・県に強く要望します

生活安全関係の要望

◎最上川排水樋管内水処理のための排水ポンプ車の増強について

集中豪雨による内水の洪水・氾濫等により、家屋に甚大な被害が発生する恐れがあり、内水処理事業の促進が緊急不可欠です。町内には8か所の排水樋管があり、特に横山第二排水樋管(通称:金川)は、横山地区の内水が集中し、一気に増水する箇所であるため、排水ポンプ車の増強を要望します。



建設・都市計画関係の要望

◎今宿・新町地区流雪溝整備事業の早期着手について

◎小菅地区流雪溝整備事業の早期着手について

今宿・新町地区は流雪溝が未整備のため捨て場のない雪が道路や歩道に大量に積み上げられ、交通を阻害するなど生活に多大な支障をきたしています。取水量確保の支援および流雪溝面的整備の早期着手について強く要望します。



今宿・新町地区

小菅地区は、用水の確保が困難なため流雪溝が未整備であり除排雪に苦慮しています。流雪溝整備に必要な取水量確保の支援および流雪溝面的整備の早期着手について強く要望します。

◎駒籠地区流雪溝取水量の確保について

駒籠地区では県道に流雪溝が整備されていますが、最上川からの取水量の確保が不十分であり、家屋密集地における町道では流雪溝が未整備であるため、除排雪に苦慮しています。県道および町道流雪溝整備に必要な取水量の確保に向けて要望します。

◎河川における水利使用の条件緩和について

市街地でも2mを超える積雪を記録する豪雪地帯である当町では、冬期間の町民の生活と、経済活動を守るための交通の確保に非常に苦慮しています。流雪溝整備においては、市街地を流れる中小河川に消流雪用水を供給するために、一級河川最上川からの取水による安定した水源の確保が最も重要ですので、国・県管理河川における水利使用の条件緩和を要望します。